

徳島市が刊行した項目式市史の第二編

一、五〇〇部限定出版

(三月三十一日発刊)

判型	A5判 縦210mm・横148mm	用紙	厚口書籍用紙
表紙	布クロス装・背文字銀版押し仕上げ	字組	本文9ポイント活字縦組
写真・図版	写真七一枚・図版七五枚組込み	史料	8ポイント活字縦二段組
頒布価格	一部 四、八〇〇円(市役所渡し価格。郵送の場合は書留送料△六五〇円△を別に申し受けます。)	頁数	本文七九八頁・史料一四六頁

監修 学習院大学名誉教授 児玉幸多
編集 徳島市史編さん室
発行 徳島市教育委員会
印刷 第一法規出版株式会社

頒布方法

ご希望の方は、徳島市徳島町城内二番地の一徳島市立図書館徳島市史編さん室においてご購入ください。書店

では販売いたしません。

なお、第一巻行政編財政編、別巻地図絵図集を購入できなかつた方のために、保有分を放出いたしますので、この際お揃えください。

近世・近代の産業経済・交通通信を史料にもとづいて書きおこした歴史書

第一編 産業経済

第一章 近世における産業経済

一 近世の特質 (ア)蜂須賀家政の入部と徳島 (イ)徳島城下町の形成と商人たち (ウ)周辺農村の

近世的編成 (ア)貞享期の城下町 (イ)産業の発達と城下町の変貌 (ウ)商人たちの生活

(ア)阿波商人の特性 (イ)経済変動と町方の組織

(ウ)町人金融の組織と運用 (ア)幕末の城下町

第二章 近代の産業経済

一 農業 (ア)地租改正と農地の変動 (イ)農業形態と小作争議 (ウ)新田の開発 (ア)農業用水と水利組合 (イ)市域の農業用水

水利組合 (ア)農産物の生産 (イ)農業團体と行政委員会 (ウ)畜産物 1馬 2牛 3養豚 4養鶏 5養兔 (ア)酪農 (イ)屠場 (ウ)食肉加工品の製造

三 養蚕業 (ア)農業制度と漁業組合 (イ)漁業調整 (ウ)海面漁業 (ア)内水面漁業 (ウ)養殖漁業

六 製塩業 (ア)勧業政策と地域開発計画 (ウ)製塩場

七 織業 (ア)徳島の染織業 (ウ)市域の染織工場

八 製糸業 (ア)徳島における製糸業の変遷 (イ)市域の製糸工場 (ウ)製糸工女の生活

十一 度量衡製造業 (ア)度量衡製造業 (ウ)醸造業 (ウ)電気事業

十二 製薬業 (ア)製薬業 (ウ)木材市場の成立と展開 (ア)たばこの販売と専売への移行

十六 木製業 (ア)木工業の変遷 (イ)振興策と指導助成 (ウ)商業活動 (ア)商業組織の変遷 (ウ)商業活動

十七 商業活動 (ア)商業組織の変遷 (ウ)商業活動

二十一 物産奨励施設の設置 (ア)物産奨励施設の設置 (ウ)物産蒐集場 (ア)物産陳列場

二十二 小売公設市場と私設市場 (ウ)商店街の動向 (ア)物産奨励施設の設置

二十三 物産陳列所 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

二十四 金融 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

二十五 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

二十六 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

二十七 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

二十八 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

二十九 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

三十 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

三十一 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

三十二 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

三十三 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

三十四 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

三十五 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

三十六 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

三十七 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

三十八 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

三十九 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

四十 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

四十一 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

四十二 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

四十三 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

四十四 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

四十五 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

四十六 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

四十七 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

四十八 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

四十九 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

五十 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

五十一 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

五十二 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

五十三 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

五十四 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

五十五 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

五十六 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

五十七 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

五十八 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

五十九 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

六十 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

六十一 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

六十二 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

六十三 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

六十四 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

六十五 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

六十六 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

六十七 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

六十八 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

六十九 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

七十 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

七十一 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

七十二 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

七十三 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

七十四 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

七十五 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

七十六 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

七十七 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

七十八 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

七十九 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

八十 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

八十一 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

八十二 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

八十三 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

八十四 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

八十五 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

八十六 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

八十七 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

八十八 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

八十九 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

九十 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

九十一 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

九十二 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

九十三 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

九十四 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

九十五 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

九十六 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

九十七 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

九十八 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

九十九 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百一 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百二 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百三 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百四 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百五 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百六 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百七 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百八 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百九 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百十 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百十一 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百十二 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百十三 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百十四 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百十五 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百十六 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百十七 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百十八 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百十九 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百二十 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百二十一 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百二十二 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百二十三 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百二十四 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百二十五 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百二十六 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百二十七 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百二十八 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百二十九 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百三十 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百三十一 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百三十二 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百三十三 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百三十四 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百三十五 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百三十六 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百三十七 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百三十八 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百三十九 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百四十 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百四十一 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百四十二 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百四十三 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百四十四 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百四十五 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百四十六 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百四十七 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百四十八 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百四十九 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

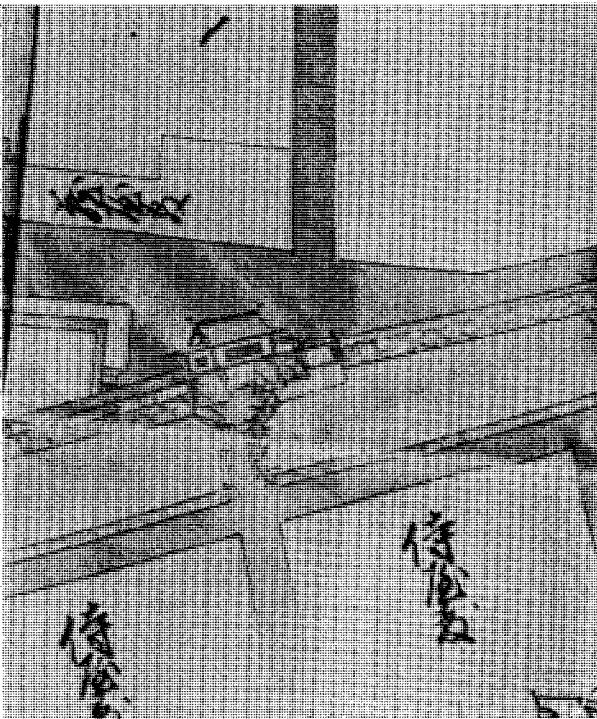
一百五十 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百五十一 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

一百五十二 銀行 (ア)商品陳列所 (ウ)商品陳列所

[内容の一部]

一 陸上交通



延宝2年(1674)の絵図に描かれている徳島橋

この橋がいつ架けられたかは明らかでないが、徳島城の築城の際に架設されたと見て間違いなかろう。「阿波志」に「徳島橋、左櫓門外に在り、寺島川に跨る、旧鼓楼下に在り、紙屋街に跨る、後此に移す」と記されているので、当初は一町程北方に架けられていたのである。それがいつごろ移転されたかは詳かでないが、寛永八年(1631)から同十三年の間に作成された「忠英様御代御山下画図」(国立史料館蔵・徳島市史別巻地図絵図集参考)には、既に寺島(現幸町二丁目徳島市役所前)に架設されているから、この絵図の作成以前に移転されたものであろう。橋の構造は、修復があるので一定していないが、元禄四年六月に作成された「綱矩様御代御山下絵図」(国立史料館蔵・徳島市史別巻地図絵図集参考)によると、橋長三四間(六一・八尺)、幅員四間(七・二七尺)、欄干に擬宝珠のついた木橋であった。

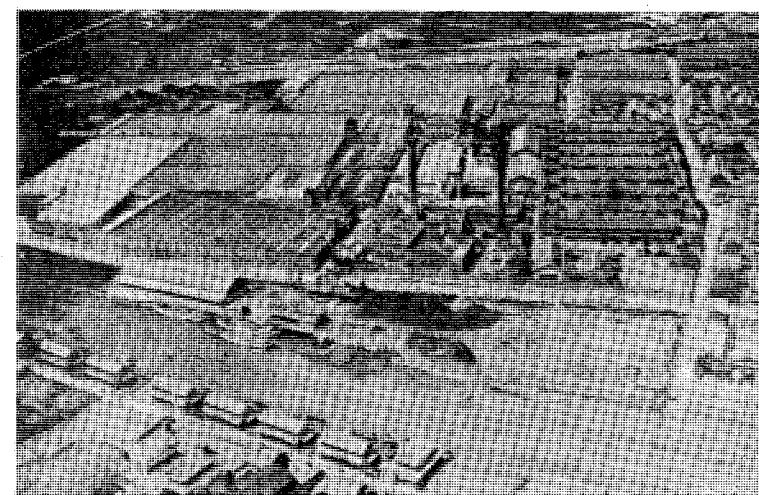
上の図は、延宝二年(1674)に藩が幕府の老中久世広之に提出した絵図に描かれている徳島橋である。橋の架かる川は、徳島城の内堀であった寺島川であるが、今は既に埋立てられ鉄道線路・東警察署・寺島公園・徳島県青少年センター・徳島市

[内容の一部]

収当時の規模は明らかでないが、大正十一年には一〇万三九五〇平方尺の敷地、二万七一五九平方尺の煉瓦造と一万四八六平方尺の木造の工場建物を有し、従業員は三七四三名(社員七三名・雇員七〇名・男工八〇〇名・女工一八〇〇名)を数える最大の工場であった。この工場を象徴するのが赤煉瓦の建物と二本の巨大な煙突であった。地上四五尺の煙突が増築されたのは大正十一年五月である。

紡機四万七七四〇錘を備えた徳島工場の綿糸生産は大正十二年には五六〇八・八トにも達した。その後も規模拡大が続けられ、翌十三年に紡機三九九六錘、昭和五年に紡機二万四六四錘、同十二年に撚糸機八〇〇錘、同十四年には紡機二万一三四錘が増設され、紡機は九万七五四四錘を数えるに至った。昭和十三年から綿糸・綿織物・綿製品の製造・販売が規制されたので、同十五年には綿糸の生産は三九八三・八トに減少してしまった。この工場の原料や製品は、下の写真を見てもわかるように助任川の専用埠頭から専属機帆船の福島丸・金福丸・三星丸などによって輸送されていた。

太平洋戦争中の企業の統合政策で昭和十八年朝日紡績と合併したとき、敷島紡績株式会社と改称したので、永年市民に



昭和15年(1940)ころの福島紡績株式会社徳農工場